

延岡市地方創生有識者会議 委員からのご意見一覧

No	該当箇所	ご意見・ご質問など	担当課
1	資料② 5ページ 「雇用創出プロジェクト」 施策 3-① 6次産業化・農商工連携支援による農林水産資源の高付加価値化	15の商品開発されているとのことですが、知らない商品が多いため、その後のPRや販路等について教えていただきたい。	農業畜産課
2	資料② 5ページ 「雇用創出プロジェクト」他 施策 3-① 6次産業化・農商工連携支援による農林水産資源の高付加価値化	バスケット構想における食材の主軸を、有機農産物(有機栽培、無農薬栽培)とすることで高付加価値化を図り、有機農産物の加工(例えば、カット野菜、冷凍食品など)や天然素材のだし(化学調味料無添加)などの生産・販売を行政が後押しすることで、6次産業化の推進にもつながると考える。また、有機農産物の学校給食への導入のほか、健康増進による医療費削減、給食を通じた食農教育を通じて愛着と誇りを醸成することで、将来の農業の担い手確保・育成対策にもつながるのではないかと考える。	農業畜産課
3	資料② 6ページ 「雇用創出プロジェクト」 施策 4-① 中小企業等成長戦略『新分野挑戦、創業・事業承継等への支援』	新規創業支援は、実績も着実に現れており、今後も力を入れていくことが望ましい施策であるが、創業後2年経過して事業を継続している者の割合を測定するとともに、創業後に課題となることが多い「販路・顧客開拓」や「人材(従業員)の確保、教育・育成」、資金調達の際の利子補給などの支援する仕組みが必要と思われる。	商業・駅まち振興課 (工業振興課)
4	資料② 6ページ 「雇用創出プロジェクト」 施策 4-① 中小企業等成長戦略『新分野挑戦、創業・事業承継等への支援』	延岡の産業構造は、商工業者数は4,918社、このうち小規模事業者(製造業その他:従業員20人以下、商業サービス業:従業員5人以下)は、4,384社と圧倒的に小規模事業者が多く、中小企業、小規模事業者の成長こそが延岡の経済の源泉である。中核企業・中小企業とともに、延岡の地域経済を支えている「小規模事業者」の支援・育成が延岡の経済の活性化のためには不可欠であり、中小企業者とともに小規模事業者への成長に寄与する政策を提言する。また、延岡の経済活性化を更に推進するために、延岡の経済状況、雇用状況等の改善について、経済団体等の意見交換を実施し、効率的な政策を講じることを要望する。	工業振興課
5	資料② 8ページ 「移住・定住推進プロジェクト」 施策 1-① 移住専門窓口の設置による住居・仕事・生活等の総合的な情報のワンストップサービスの提供 施策 1-② おためし移住等による移住者支援の推進	移住・定住サイト及びLINEのアクセス数が46,882件とありますが、ユニークユーザー数(同じ人が何度訪れても1UU)でしょうか。それとも総アクセス数でしょうか。また、お試し移住者数が累計で122世帯286名とありますが、現在の定着率と定住者の数はいくつでしょうか。	企画課

延岡市地方創生有識者会議 委員からのご意見一覧

No	該当箇所	ご意見・ご質問など	担当課
6	資料② 11ページ 「移住・定住推進プロジェクト」 施策 3-⑤ 祖母傾山系ユネスコエコパークを活用した観光客誘致	H30年度実績では、前年比2,644人の減少とあり、主な理由に祝子川温泉雨漏り修繕工事に伴う食堂の休業による入り込み客の減、台風24号に伴う一部の登山ルート被災による大崩山登山客の減を挙げている。「祝子川地区の観光客数」という指標で見ればそうかもしれないが、新規項目として「エコパークを活用した観光客誘致」をうたっているのであれば、もっと具体的な誘致策が必要であろう。大分県側では、トレッキングコースの整備をはじめ、エコパークを活用した民間レベルの様々な誘客策が見られる。延岡市内のエコパーク対象地域も祝子川地区だけにとどまらない。北方町の鬼の目山周辺、行藤山、北川湿原を含めた範囲での観光客数の動向把握及び新たな誘客策を望みたい。	北川支所地域振興課 (経営政策課) (観光戦略課)
7	資料② 11ページ 「移住・定住推進プロジェクト」 施策 3-⑤ 祖母傾山系ユネスコエコパークを活用した観光客誘致	延岡から上祝子川まで、途中、立ち寄る場所がない。温泉、神さん山では集客できない。秘境バスとして運賃の割引きを行ってもその期間のみである。若者を引き付ける、立ち寄る場所が欲しい。	北川支所地域振興課 (経営政策課) (観光戦略課) (交通政策課)
8	資料② 12ページ 「移住・定住推進プロジェクト」 施策 4-① 大学・高校と連携した地元企業への就職促進、就職説明会等の開催による雇用の創出	地場企業の経営者の悩みとしては、依然若手職員の人員確保が課題と答えるケースが多い。地元学生の定住を促進するための支援の実施において、有効求人倍率の上昇による求職者数の減少を理由に達成率83.1%となっているが、地元企業への就職者数を伸ばしていくためには、県・市や雇用促進協議会の説明会内容に工夫が必要なのではないか。また、説明会以外での地元学生の定住を促す支援に対し具体的な取組等があれば教えていただきたい。	工業振興課
9	資料② 15・16ページ 「持続可能なまちづくりプロジェクト」 施策 1-① 中山間地域におけるコミュニティや生活利便性の維持・確保 施策 1-② ② 道の駅を拠点とした生活支援システムの構築	これから地域コミュニティを維持するために重要となってくるのは、財源もさることながら、担い手の確保だと考える。それは中山間部に限らず都市部でも同じです。まずは早急な対策が必要な中山間地での事業で成果をあげ、それを「育成モデル」として都市部にも展開していくことが必要だと考えます。 ①当事業において、どのような目的を設定し、何を到達点としているのか教えてください。また、資料以外の取組があれば教えてください。 ②平成30年度に応募がなかった原因について、担当課はどう考察されていますか。 ③当事業の目的は「支援」ですが、コミュニティ維持は行政効率化など市政運営にも深く関与する課題であるため、育成への積極的な関与が必要だと考える。また、同じく施策1-②の「道の駅を拠点とした生活支援システムの構築」についても達成率が33%にとどまっており、1-①の施策とあわせて事業の目的・ビジョンが住民、関係者に伝わっていなかったことが考えられる。何から手をつけるかという点が行政、住民側ともはっきりしていなかったのではないのでしょうか。	経営政策課 商業・駅まち振興課

延岡市地方創生有識者会議 委員からのご意見一覧

No	該当箇所	ご意見・ご質問など	担当課
10	資料③-1 交付金事業 「食」と「連携」による東九州バスク化構想推進事業～海と大地を一皿に～	<p>①延岡市のインバウンドの現状と受入態勢(メニューの多言語標記、キャッシュレス化の普及促進等)について教えていただきたい。</p> <p>②この事業がスタートして3年が経過し、様々なイベント等の開催により一定の成果が出ていると思うが、県外からの人に感想を聞くと「延岡の食べ物はとても美味しい。もっと情報発信するといいのに勿体ないね」という声を多く耳にする。情報発信の方法や相手先、イベントのやり方等に今以上に工夫が必要ではないのかと思ったりもするが、そのことを踏まえ現状をどのように評価しているかお聞きしたい。</p>	企画課 観光戦略課
11	その他	<p>目標を達成できていない施策に対しての原因分析をしっかりと行い、次の目標達成に向けた行動計画を立てるべきだと思います。また、目標を達成している施策に関しては、何が良かったのか、良かった点を更に伸ばして、次の段階の施策を検討する礎にすべきだと思います。この当たり前のことをしっかりと出来るか出来ないかで結果が違ってくると思います。</p>	企画課